

えどがわ ストーリー



生き物たちが もどってくる!?

1 かつての江戸川区は 生き物たちの楽園だった。

昔、江戸川区をとりまく川や海は青くすんでいて多くの魚がのびのびと泳ぎ、鳥たちがたわむれるゆたかな自然が存在していました。そこでは子供たちが水遊びをしたり、漁業が行われたりまた交通の手段としても使われ、今よりも川や海と深く関わった生活が営まれていました。



2 鳥や魚たちが川や海から消えた?

時代が進み、人々のくらしは都市化にあわせて生活様式がどんどん変わり、家庭からの廃水や流域に立ちならぶ工場からの廃水が川や海にたくさん流れ込み、川と海的环境はどんどんわるくなり生き物たちはすがたを消しました。



えどがわ 生き物ガイド

もくじ

- えどがわストーリー 1~3
- 江戸川区をとりまく水環境 4
- 淡水にすむ水生生物 (大河川) 5~6
- 淡水にすむ水生生物 (親水公園や緑道) 7~8
- 汽水にすむ水生生物 (大河川) 9~10
- 汽水にすむ水生生物 (親水公園や緑道) 11~12
- 海水にすむ水生生物 13~14
- 家のまわりで見られる野鳥 15~16
- 川や池で見られる野鳥 17~19
- 河川敷で見られる野鳥 20
- 干潟で見られる野鳥 21~22
- 海で見られる野鳥 23~24
- 江戸川区の自然にはふしぎがいっぱい 25~26

3 しぜんは自分たちの手でとりもどせる。 自然は自分たちの手でとりもどせる。

地域の人々はよごれてしまった川や海をかつての自然なすがたにもとそうとよびかけあい、そのためのさまざまな活動や事業が行われました。地域の人々による水辺のゴミ拾いや行政機関による下水道や廃水処理施設、また親水施設整備といった多くの活動や事業によって江戸川区の自然は少しずつ息を吹き返し、一度はすがたを消した鳥や魚たちが、再びもどってきました。



■もどってきた自然



■ゴミひろい運動



■親水公園づくり

◆下水道の整備と川のよごれのうつりかわり◆

